

一般廃棄物処理基本計画における主な施策の令和5年度の取り組み及び実績<全体版>

基本方向 1 家庭系ごみの4Rの推進

基本 施策	施策内容	令和5年度の取組内容・年度目標	令和5年度の取組実績(1月末)	今後の予定等	前年度取組実績
4Rのための環境教育・環境学習の推進	<p>(1) 小学校等における4R教育の推進</p> <p>中学校・小学校・幼稚園・保育所(園)における4R教育を実施するとともに、より幅広い世代に対する4R教育を進めるため、関係機関の協力を得ながら、高等学校・大学における4R教育の実施も検討していきます。</p> <p>また、環境副読本「わたしたちのくらしと環境」を市内の小学4年生に配付するとともに、清掃工場への見学の受け入れやごみの収集体験を行うなど、ごみへの関心を高め、4Rに関する意識啓発を行います。</p>	<p>① 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・保育所(園)における4R教育を推進していきます。</p> <p><年度目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習(4R教育)について、幼保・小・中学校・高等学校等から依頼を受けた全校で実施する。 ・環境ポスターコンクール各賞のネーミング変更を行うなど受賞者がよりごみ問題に関心が持てるよう充実を図る。 	<p>【環境学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみとリサイクルの話・収集体験 幼・保： 27園(年長児952人) 小学校： 35校(4年生3,610人) 中学校： 1校(※廃棄物調査報告会出席) <p>【環境ポスターコンクール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/5表彰式(環境フェスタひらエコまつり) ※各賞ネーミングを変更 	<p>【環境学習】</p> <p>3/14 保育園 1園</p> <p>3/21 保育園 1園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校34校、中学校4校、幼稚園・保育所(園)29所(園)計67施設で環境学習を実施した。 ・環境ポスターコンクールを実施した。 参加 小学校5校 447作品 中学校6校 44作品 8月に受賞作品を決定。
		<p>② 大学の学園祭等において啓発キャンペーンを継続実施します。</p> <p><年度目標></p> <p>市内5大学の学園祭等において、「リユース」及び「食品ロス」啓発キャンペーンを実施する。</p>	<p>10月～11月 市内5大学学園祭 グッズ配架</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べのこサンデー啓発チラシ折込ティッシュ 100個 ・花・野菜の種シート 30枚 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・市内4大学(1大学はオンライン開催)で啓発キャンペーンを実施した。 ・関西医科大学、摂南大学、関西外大、大工大学の学園祭に啓発ティッシュを配布した。(各100個)
		<p>③ 市ホームページや広報、案内状の送付等により清掃工場見学の周知を図るとともに、見学の機会を活用した4Rの啓発を行います。</p> <p><年度目標></p> <p>東部清掃工場において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、施設見学を受け入れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等更新 ・感染拡大防止対策を講じ見学を実施。 見学人数 小学校32校 2,344名 <p>施設見学内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理棟1階屋外エントランス部分に塵芥クレーン爪の実物展示。 (縦190cm 横100cm 重さ約350kg) <ul style="list-style-type: none"> ・施設紹介、啓発動画の充実 ①工場全体紹介DVDの更新(灰溶融炉停止に伴うもの) ②見学ルートからは見ることのできない工場内設備の仕組み・働きが分かる動画の追加として、焼却灰の流れを追加。 <ul style="list-style-type: none"> ・10/29 環境教育・啓発を目的とする工場見学の充実を図るためのイベント「環境フェスタ氷室ふれあい里の駅」開催 来場者 529名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新(3月) ・感染拡大防止対策を講じ、見学受け入れを継続。 ・施設紹介、啓発動画の充実のため、臭気対策動画の追加作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新(5・6・10・11・2・3月) ・感染拡大防止対策を講じ見学を実施。 見学人数小学校27校 2,047名 施設見学内容の充実 ・昆虫・植物の観察を通じた環境教育のため、インセクトホテルを緩衝緑地へ設置した。 ・「環境フェスタ氷室ふれあい里の駅」が中止となったことから、「リユース可能な子ども服・おもちゃの無料提供会とミニ工場見学」を単独開催し大盛況となった。来場者115名(うち見学者49名)

基本 施策	施策内容（基本計画抜粋）	令和5年度の取組内容・年度目標	令和5年度の取組実績(1月末)	今後の予定等	前年度取組実績
4Rのための環境教育・環境学習の推進	<p>(2) 地域等における4R学習の推進</p> <p>市職員が地域等に出向いてごみの話をする「出前講座」を行うとともに、市民による清掃工場への見学内容の充実を図り、4Rへの理解と協力を得られるよう、4R学習の取り組みを進めます。</p>	<p>④ リサイクル可能な資源物の分別排出の更なる徹底を図るため、市民団体の要望に応じた出前講座を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7/27 「食品ロスの話」 1団体 ・9/19 「ダンボール堆肥を使って生ごみを堆肥化しよう！」 1団体 ・12/18 「食品ロスの話」 1団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・2/27 「古紙回収の話」 1団体 ・3/13 「枚方市のごみとリサイクルの話」 1団体 	<p>出前講座実施件数 3件</p> <p>出前講座の内容 「枚方のごみとリサイクルの話」 「食品ロスの話」 「段ボール堆肥を使って生ごみを堆肥化しよう」</p>
		<p>⑤ 清掃工場の見学について市のホームページや広報等での周知を継続的に実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等更新 ・感染拡大防止対策を講じ見学を実施。 実施回数 21回 参加人数 569名 ・施設見学内容の充実 管理棟1階屋外エントランス部分に塵芥クレーン爪の実物展示。 (縦190cm 横100cm 重さ約350kg) ・施設紹介、啓発動画の充実 ①工場全体紹介DVDの更新(灰溶融炉停止に伴うもの) ②見学ルートからは見ることのできない工場内設備の仕組み・働きが分かる動画の追加として、焼却灰の流れを追加。 ・10/29 環境教育・啓発を目的とする工場見学の充実を図るためのイベント「環境フェスタ氷室ふれあい里の駅」開催 来場者529名(うち工場見学121名) ・11/27 「リユース可能な子ども服・おもちゃの無料提供会とミニ工場見学」開催 来場者264名(うち工場見学36名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新(3月) ・感染拡大防止対策を講じ、見学受け入れを継続。 3月に2件 55名来場予定 ・施設紹介、啓発動画の充実のため、臭気対策動画の追加作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新(5・6・10・11・2・3月) ・感染拡大防止対策を講じ見学を実施。 実施回数 17回 参加人数 278名 施設見学内容の充実 ・昆虫・植物の観察を通じた環境教育のため、インセクトホテルを緩衝緑地へ設置した。 ・「環境フェスタ氷室ふれあい里の駅」が中止となったことから、「リユース可能な子ども服・おもちゃの無料提供会とミニ工場見学」を単独開催し大盛況となった。来場者115名(うち見学者49名)

基本 施策	施策内容（基本計画抜粋）	令和5年度の取組内容・年度目標	令和5年度の取組実績(1月末)	今後の予定等	前年度取り組み実績																							
4 R 活 動 の 推 進	<p>(1) 生ごみの4Rの推進</p> <p>ごみの組成分析調査の結果、家庭系ごみ中に生ごみが約33%含まれており、手をつけていない食品も含まれていたことから、生ごみの発生抑制の取り組みを促進するために、食品ロスの削減に向けた啓発や事業者との連携した取り組みを充実・検討するなど、食を通して環境問題への関心と理解が深まるよう、環境に配慮した食育を計画的に推進します。</p> <p>また、市民グループと連携して生ごみの堆肥化の普及を進めていくとともに、生ごみの水切りの促進や新たな取り組みを検討します。</p>	<p>⑥ 「食べのこサンデー」運動のロゴマークを使用した食品ロスの削減に向けた啓発を進めます。</p> <p><年度目標> HPに掲載する関連情報の閲覧につなげるためQRコードを記載した「チラシ」と「花・野菜の種」等の配布物を各支所等へ設置し食品ロス削減の意識向上を図る。</p>	<p>・各種イベントで啓発グッズを配布 5/13～14 「緑化フェスタ」 8/26 「ひらかたまつり」 10/29 「氷室ふれあい里の駅」 11/4 「京田辺市環境フェスタ」 11/5 「ひらエコまつり」 12/2 「枚方市農業まつり」 12/23～24 「エヴェッサ&パンサーズ共催」 ※グッズ：食べのこサンデーエコトラリー専用チラシを折り込んだティッシュ花・野菜の種</p> <p>・中身入りスプレー缶等の出張回収時に「食べのこサンデー運動」啓発グッズを配布</p>	<p>・中身入りスプレー缶等出張回収時に啓発活動を実施予定。</p>	<p>・ロゴマークを活用した啓発として、ラッピング塵芥車1台及び啓発シールを全車に貼付して啓発を継続した。</p> <p>・「食べのこサンデー」のチラシを作成し、全小学校4年生へ配布した。</p> <p>・10月～12月に実施した中身入りスプレー缶等の出張回収場所で「食べのこサンデー」のPRを行った。</p>																							
		<p>⑦ 厨芥類を削減するため、堆肥の有効利用を研究し、イベントや講習会等で広く啓発を行い、生ごみ堆肥化やリユースの取り組みを進めます。</p> <p><年度目標> 生ごみ堆肥化モニター事業を推進し、堆肥の有効活用を図る。</p>	<p>【モニター申込】</p> <p>・EM容器 9人 ・コンポスト 8人</p>	<p>—</p>	<p>ホームページや広報ひらかたで参加申し込みを行い、事業を実施した。</p> <p>EM容器の貸与 10件 コンポストの貸与 7件</p>																							
		<p>⑧ 生ごみ堆肥化講習会を継続実施し、普及を進めます。</p> <p><年度目標> ・年度内に講習会を5回実施する。 ・「いつでも」「どこでも」生ごみ堆肥化について学べる動画を作成しHPへ掲載する。</p>	<p>【生ごみ堆肥化講習会】 7/24、9/18、11/20 実施 計35人参加</p> <p>【イベント出展】 11/3「京田辺市環境フェスタ」 11/5「ひらエコまつり」</p> <p>【環境学習】 ダンボール箱による生ごみの堆肥化 小学校9校(666人) 野菜の種蒔き 小学校6校(440人)</p> <p>【出前塾】 ダンボール堆肥を使った生ごみを堆肥化 1団体</p>	<p>【生ごみ堆肥化講習会】 2/12 実施</p> <p>・生ごみ堆肥化動画の構成を企画・検討</p>	<p>生ごみ堆肥化講習会を実施した。 開催回数 2回</p>																							
		<p>⑨ 食品ロス削減のために、事業者と連携してフードドライブに取り組みます。</p> <p><年度目標> 回収拠点の拡大など取り組みの拡充を図る。</p>	<p>【取り組みの拡充】</p> <p>・食品回収拠点の拡大(8箇所→12箇所) ・食品提供先の拡大(社会福祉協議会及び市福祉部局を追加)</p> <p>【食品回収実績】</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>105 kg</td> <td>9月</td><td>115 kg</td> </tr> <tr> <td>5月</td><td>142 kg</td> <td>10月</td><td>99 kg</td> </tr> <tr> <td>6月</td><td>63 kg</td> <td>11月</td><td>128 kg</td> </tr> <tr> <td>7月</td><td>132 kg</td> <td>12月</td><td>157 kg</td> </tr> <tr> <td>8月</td><td>170 kg</td> <td>1月</td><td>402 kg</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合計 1,512 kg</td> </tr> </table>	4月	105 kg	9月	115 kg	5月	142 kg	10月	99 kg	6月	63 kg	11月	128 kg	7月	132 kg	12月	157 kg	8月	170 kg	1月	402 kg	合計 1,512 kg				<p>引き続き、フードドライブに取り組む。</p>
4月	105 kg	9月	115 kg																									
5月	142 kg	10月	99 kg																									
6月	63 kg	11月	128 kg																									
7月	132 kg	12月	157 kg																									
8月	170 kg	1月	402 kg																									
合計 1,512 kg																												

基本 施策	施策内容（基本計画抜粋）	令和5年度の取組内容・年度目標	令和5年度の取組実績(1月末)	今後の予定等	前年度取り組み実績																						
4 R 活 動 の 推 進	<p>(2) リデュース・リユースの推進</p> <p>従来から実施しているマイバックの利用の促進を図るとともに、マイボトル持参の拡大に向けて、キャンペーンの実施やワンウェイプラスチックの削減を促進するなど、リサイクルよりも優先すべきリデュースの取り組みを進めます。</p> <p>また、市内のリサイクルショップやフリマアプリが普及したことで、市民のリユース意識が向上し、不用品交換情報ネットワーク（「あげます・ください」）の活用が減少しています。このことから、今後は、公民連携を含めたリユースを目指すなど、リサイクルよりも優先すべきリユースの取り組みについても検討を進めます。</p>	<p>⑩ 日常の買い物にマイバッグを持参し、レジ袋を断わることや、マイボトルの利用促進に関して街頭キャンペーン、ホームページなどを利用し推進します。</p> <p><年度目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイバック・マイボトル利用促進及び生ごみ水切り等の啓発活動を行う。 	<p>【イベント出展】</p> <p>5/13～14「緑化フェスタ」 8/26 「ひらかたまつり」 ※リユースバッグを必要な方へのみ配布</p> <p>【キャンペーン】</p> <p>中身入りスプレー缶等出張回収にあわせて「生ごみの水切り啓発」として水切り袋を配布</p> <p>【実証実験】</p> <p>9～12月 給水スポット設置 ※ペットボトル等のプラスチックごみの削減とマイボトル使用促進に向けて4庁舎へ設置。（利用者アンケート実施）</p>	<p>【イベント出展】</p> <p>3/10「ひらかた五六市」 市民へ生ごみの水切りの協力呼びかけ及び水切り袋の配布を実施</p> <p>【キャンペーン】</p> <p>水切り関連パネル及び水切り袋の設置場所の追加検討</p> <p>【実証実験】</p> <p>給水スポット実証実験総括等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化フェスタでマイバック・マイボトルの取り組み趣旨を記載した啓発ティッシュとエコバックを配布した。 ・市内公共施設の掲示板、店舗や公共施設に設置している小型家電・蛍光管等の回収BOX及びエコショップに啓発ポスターを掲示し、あわせて市ホームページにも掲載した。 ・中身入りスプレー缶等の出張回収場所、市内店舗及び街頭にて、マイバック・マイボトルの取り組み趣旨を記載した啓発ティッシュを配布した。 <p>総啓発人数 2,000人</p>																						
	<p>⑪ 不用品交換情報「あげます・ください」の活用が減少していることから公民連携を含めたリユースを目指します。</p> <p>また、「持込ごみ」、「臨時ごみ」で原形を保持している物品をイベント時に市民に提供し、リユースの取り組みを推進します。</p> <p><年度目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみとして排出された「リユース品」については、ごみ減量フェア等イベント内で市民へ無料提供する。 ・連携協定を締結したジモティーの利用促進を目指し、イベント等での周知・啓発を行う。 	<p>【掲示板サイトの活用】</p> <p>5月 ㈱ジモティーと連携協定を締結 6月 「あげます・ください」情報掲載終了 10月 ジモティー掲示板サイトへリユース品掲載</p> <p>10月以降リユース品提供実績 60品 410.6kg</p> <p>【イベントでのリユース品提供】</p> <p>10/29 氷室ふれあい里の駅 5品 31.5kg 11/5 ひらエコまつり 69品 352.7kg 11/27 子ども服・おもちゃリユース品の無料提供会 18品 135kg</p> <p>【周知PR】</p> <p>周知ポスターの代替啓発として、専用パネルを作製、庁舎関連施設へ設置 (中央図書館・各支所・環境部管理棟等)</p>	<p>【掲示板サイトの活用】</p> <p>ジモティー掲示板を活用したリユース施策の拡充として、「有償提供」を含めた取り組み手法の調査研究及びリユース品の有効活用並びに効果的な広報について検討する予定</p> <p>【イベントでのリユース品提供】</p> <p>3/2「Panasonic パンサーズ市民応援デー」 3/10「ひらかた五六市」 3/23「第3回ロハスパーク枚方」</p> <p>【周知PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報ひらかた ・ホームページ ・各種SNS等 	<p>「あげます・ください」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あげます情報掲載 1件（成立）4件（不成立） ・ください情報掲載 0件 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、減量フェアを中止。 <p>リユースの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化フェスタにてリユース品20点提供 ・国勢調査で使用したバックをイベント時に130点提供 ・中身入りスプレー缶等の出張回収場所にてリユース品90点提供 ・ごみ減量講演会時に国勢調査で使用したバックを110点提供 <p>総リユース数 350点</p>																							
	<p>⑫ すぐにサイズアウトする子ども服、短期間で使われなくなるおもちゃを回収し、イベント開催により市民に提供し、リユースの取り組みを推進します。</p> <p><年度目標></p> <p>通年の拠点回収及び出張回収により、子ども服・おもちゃを回収し、イベント開催により提供を行う。</p>	<p>【拠点回収（通年）】</p> <table border="0"> <tr> <td>回収量</td> <td>子ども服</td> <td>288.4 kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おもちゃ</td> <td>383.5 kg</td> </tr> </table> <p>【出張回収 4回実施 提供者 89名】</p> <table border="0"> <tr> <td>回収量</td> <td>子ども服</td> <td>259.7 kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おもちゃ</td> <td>117.9 kg</td> </tr> </table> <p>-----</p> <table border="0"> <tr> <td>合計</td> <td>子ども服</td> <td>548.1 kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おもちゃ</td> <td>501.4 kg</td> </tr> </table> <p>【提供】</p> <p>11/27 無料提供会とミニ工場見学の開催</p> <table border="0"> <tr> <td>来場者</td> <td>264名（うち見学者 36名）</td> </tr> <tr> <td>提供量</td> <td>子ども服 331.5 kg 1,271枚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おもちゃ 416.8 kg 541個</td> </tr> </table>	回収量	子ども服	288.4 kg		おもちゃ	383.5 kg	回収量	子ども服	259.7 kg		おもちゃ	117.9 kg	合計	子ども服	548.1 kg		おもちゃ	501.4 kg	来場者	264名（うち見学者 36名）	提供量	子ども服 331.5 kg 1,271枚		おもちゃ 416.8 kg 541個	<p>【拠点回収（通年）】</p> <p>東部資源循環センター、穂谷川資源循環センター管理棟及び第3プラント、希釈放流センターの4か所にて引き続き回収。</p> <p>【提供】</p> <p>次回の無料提供会は、開催に必要なリユース品が集まった時点（不定期）で、開催する予定。</p>
回収量	子ども服	288.4 kg																									
	おもちゃ	383.5 kg																									
回収量	子ども服	259.7 kg																									
	おもちゃ	117.9 kg																									
合計	子ども服	548.1 kg																									
	おもちゃ	501.4 kg																									
来場者	264名（うち見学者 36名）																										
提供量	子ども服 331.5 kg 1,271枚																										
	おもちゃ 416.8 kg 541個																										

基本 施策	施策内容（基本計画抜粋）	令和5年度の取組内容・年度目標	令和5年度の取組実績(1月末)	今後の予定等	前年度取り組み実績
適 正 排 出 の 推 進	<p>(1) 分別排出ルールの徹底</p> <p>ごみの組成分析の結果、一般ごみ中にリサイクル可能と思われるものが約3割含まれていたことから、分別排出ルールに関する啓発を計画的に充実・強化することとし、広報ひらかたや市ホームページなどにおいて分別排出の方法を周知するとともに、分別状況が悪い場合は、直接排出者に対して啓発・指導を行い、分別排出ルールの徹底を図ります。また、必要に応じて粗大ごみマニュアルや外国語のリーフレットなどを更新・改良し、分別排出ルールをわかりやすく伝えていきます。</p>	<p>⑱ 分別状況が悪いごみ置き場の利用者に対し、戸別訪問等による啓発・指導を行います。</p> <p><年度目標> ごみの分別排出が悪い集積場所を把握し、戸別訪問やポスティング啓発活動を実施する</p>	<p>・ポスティングによる啓発を実施した。</p> <p>一般ごみ：1,084集積場所 22,351世帯 容器包装プラ：850集積場所 27,738世帯 缶、びん・ガラス類：125集積場所 3,349世帯 総数：2,059集積場所 53,438世帯</p>	<p>・一次啓発（ポスティング）で改善が見られないごみ置き場について、戸別訪問により直接、適正排出の啓発活動を行っている。</p> <p>・ワンルームマンションについては、管理会社を通して住民への啓発を行っている。</p>	<p>・ポスティングによる啓発を実施した。</p> <p>一般ごみ：996集積場所 20,668世帯 容器包装プラ：837集積場所 30,277世帯 缶・びん・ガラス類：698集積場所 6,158世帯</p> <p>総数：2,531集積場所 57,103世帯</p>
	<p>⑲ 啓発資料として作成した「ごみ収集日カレンダー」を配布し、ごみ減量・分別排出の啓発活動を行います。</p> <p><年度目標> ・小学校44校の全ての4年生にカレンダーをPDFデータで配布する。 ・ごみの適正な排出の啓発活動を実施する。</p>	<p>—</p>	<p>3/1 小学校44校4年生～6年生を対象にカレンダーPDFデータを配布予定</p>	<p>・環境学習の事前打ち合わせの際「ごみ収集日カレンダー」を啓発資料として小学校4学年を対象に全校配布した。</p>	
	<p>⑳ ごみの適正排出を推進するため「ごみ分別アプリ」をはじめとした様々な情報伝達媒体を活用して広く周知します。</p> <p><年度目標> ごみの分け方・出し方や排出日等が分かるアプリを配信して、ごみの適正な排出に向けた啓発活動を実施する。</p>	<p>各種広報媒体による啓発を実施。</p> <p>・ホームページ ・ごみ分別アプリ ・周知チラシの配布（粗大ごみマニュアル折込） 転入者約5,000人</p> <p>アプリダウンロード数 5,465件 述べ 42,867件</p>	<p>引き続き、啓発を実施する。</p>	<p>・ごみの適正排出を推進するため、枚方市LINE公式アカウント、広報ひらかた、市ホームページ、ごみ分別アプリ等により、市民に広く周知した。</p> <p>・アプリダウンロード数 令和4年度 7,048件 延べ 37,402件</p>	
	<p>㉑ 古紙の行政分別回収についてホームページ等への掲載により、市民に広く周知します。</p> <p><年度目標> 古紙の分別回収に向けた啓発活動を実施する。</p>	<p>・ホームページ、ごみ分別アプリ等による周知を実施 ・周知チラシ配布（粗大ごみマニュアル折込） 転入者約5,000人</p>	<p>引き続き、周知を実施する。</p>	<p>古紙の行政分別回収について、広報ひらかた、市ホームページ、ごみ分別アプリ等により、市民に周知した。</p>	
	<p>(3) 適正処理困難物や危険物等の適正排出の促進</p> <p>適正処理困難物や危険物等の品目について整理を行い、処分先の案内や処分方法などの情報を提供し、市民が適切に処分することができるように、検討を進めます。また、水銀使用廃製品などの回収方法を定めている適正処理困難物や危険物等については、その排出方法を市民へ広く周知し、適正排出を促進します。</p>	<p>㉒ 中身が残ったカセットコンロ用ガス缶、スプレー缶、水銀体温計、温度計及び血圧計などについて、市民からの持ち込み回収を行い、専用施設を有する業者等において適正に処理します。</p> <p><年度目標> ・中身入りスプレー缶等の出張回収を公共施設で10回行う。 ・適正処理困難物や危険物等の適正排出の促進を行い、回収物の適正処理に努める。</p> <p>㉓ 水銀使用廃製品（乾電池、蛍光灯など）を適正処理するため、市で行う分別拠点回収を広く周知します。</p> <p><年度目標> 処理施設の安全・安定的な運用を継続するため、水銀使用廃製品（蛍光灯等）の分別拠点を周知する。</p>	<p>・中身入りスプレー缶等の出張回収 8回実施</p> <p>・適正処理困難物や危険物等の回収量 ガス・スプレー缶 出張回収 14,825本 持込回収 7,329本</p> <p>・ホームページ、ごみ分別アプリ、マニュアル等による周知を実施。 ・周知チラシ配布（粗大ごみマニュアル折込） 転入者約5,000人</p> <p>・廃乾電池処理量 42,090kg ・廃蛍光灯処理量 6,590kg</p>	<p>・中身入りスプレー缶等の出張回収予定 2/20 津田支所 3/19 市役所別館</p> <p>・引き続き、周知を実施する。</p> <p>・今年度の水銀廃製品（蛍光灯等）の処理は完了。</p>	<p>適正処理困難物や危険物等の回収量 ガス・スプレー缶 12,750本 水銀体温計 406本 水銀血圧計 22台</p> <p>水銀使用廃製品の分別拠点回収について、市ホームページ、ごみ分別アプリ、マニュアル等により市民に周知した。</p>

基本 施策	施策内容（基本計画抜粋）	令和5年度の実組内容・年度目標	令和5年度の実組実績(1月末)	今後の予定等	前年度取り組み実績						
市民サービスの向上	<p>(1) ごみ収集支援の拡充</p> <p>ふれあいサポート収集に加え、新たに屋内から大型ごみなどの持ち出しを行うサポート収集を実施し、ごみ収集支援を推進します。</p>	<p>⑲ ふれあいサポート収集を継続実施します。</p> <p><年度目標> ふれあいサポート収集を継続実施する。</p>	<p>ふれあいサポート収集登録状況</p> <table border="0"> <tr> <td>利用登録数</td> <td>227件</td> </tr> <tr> <td>新規登録数</td> <td>75件</td> </tr> <tr> <td>登録抹消</td> <td>65件</td> </tr> </table>	利用登録数	227件	新規登録数	75件	登録抹消	65件	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいサポート収集を継続実施する。 ふれあいサポート収集について、広報やホームページ及び、チラシを活用しながらより広く市民周知を図る。 校区コミュニティを通じて各自治会に対してPR活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいサポート収集登録状況 <ul style="list-style-type: none"> 利用登録数 217件 新規登録数 66件 登録抹消数 43件 スマホアンケートにて市民認知度の調査を行った。 ふれあいサポート収集申込書をホームページよりダウンロード出来るようにした。
	利用登録数	227件									
	新規登録数	75件									
登録抹消	65件										
<p>(2) 超高齢社会等への対応</p> <p>今後、さらに一人暮らしの高齢者等が増えることが見込まれることから、既存のふれあいサポート収集及び大型ごみ持ち出しサポート収集事業の充実を進めます。</p>	<p>⑳ ごみ出しに関する高齢者等支援である「ふれあいサポート収集」、「大型ごみ持ち出しサポート収集」事業について、市民ニーズの把握や枚方市介護支援専門員連絡協議会からの意見聴取、関係部署との意見交換等により、事業の充実に努める。</p> <p><年度目標> 「ふれあいサポート収集」は一人暮らしで要件を満たす方をサポート対象としているが、複数人世帯でも要件を満たす世帯はサポートできるよう対象者を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ふれあいサポート収集」について、複数世帯でも要件を満たす場合、サポートできるよう対象を拡大した。 「大型ごみ持ち出しサポート収集」について、大型ごみと同時に排出された粗ごみも収集サポート対象に拡大した。 	<p>引き続き、サポート収集事業の拡充を見据え、継続実施する。</p>	<p>「ふれあいサポート収集」及び「大型ごみ持ち出しサポート収集」について、校区コミュニティ向けのチラシを作成し、広報やホームページ及び、チラシを活用しながらより広く制度の市民周知を図った。</p>							

2. 基本方向2 事業系ごみの4Rの推進

基本 施策	施策内容（基本計画抜粋）	令和5年度の実組内容・年度目標	令和5年度の実組実績(1月末)	今後の予定等	前年度取り組み実績
4 R 活 動 の 推 進	<p>(1) 生ごみの4Rの推進</p> <p>ごみの組成分析調査の結果、事業系ごみ中に生ごみが約37%含まれており、売れ残り食品も含まれていたことから、食品製造業や飲食店、小売店などから排出される生ごみについて、食品ロスの削減に向けた啓発等を充実・強化するとともに、「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）」に基づく取り組みを周知していきます。</p>	<p>㉗ 全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会の会員として、忘新年会シーズンに、外出時の「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施します。</p> <p><年度目標> 広報ひらかたや市ホームページ等を活用してキャンペーンを実施する。</p>	<p>・食品ロス削減月間である10月に、ホームページ及び広報ひらかたに啓発記事を掲載した。</p> <p>・市が参画する、「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」の忘年会シーズンにおける外出時のおいしい食べきり全国共同キャンペーンとして、12月にホームページ及び広報ひらかたを活用して啓発を行った。</p>	<p>—</p>	<p>年末年始の食品ロス削減について、広報ひらかた12月号とホームページを活用して全国共同キャンペーンを実施した。</p>
	<p>(2) 古紙のリサイクルの推進</p> <p>ごみの組成分析調査の結果、事業系ごみ中にリサイクル可能と思われる古紙が約7%含まれていたことから、資源化物として処分してもらえる資源化事業者の紹介や搬入拠点の整備を行うなど、事業活動に伴い排出される古紙のリサイクルを計画的に進めます。</p>	<p>㉘ 事業者及び庁内から発生する古紙のリサイクルについて周知を行います。庁内から発生する機密文書に準じた処理が必要な古紙については、機密を保持したまま再生処理が可能な契約事業者へ引き渡しを行います。</p> <p><年度目標> ・庁内古紙のリサイクル 8,500kg ・事業者に対して市ホームページ等を活用し古紙のリサイクル処理を周知する。</p>	<p>・庁内古紙について、機密を保持したまま再生処理が可能な事業者と、古紙売払い契約を締結した。</p> <p>・庁内古紙のリサイクル処理量 6,020 kg</p>	<p>引き続き、庁内古紙のリサイクルを推進する。</p>	<p>・庁内全課に対して、機密文書に準じた古紙のリサイクル処理について周知文書を送付した。</p> <p>・古紙のリサイクル処理量 10,140kg</p>
	<p>(3) 多量排出事業者への減量指導</p> <p>「枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例」に基づく多量排出事業者に対して、一般廃棄物減量等計画書の提出や廃棄物管理責任者の選任を求めるとともに、研修会等の開催や立入指導を定期的実施します。</p>	<p>㉙ 学校給食牛乳パックについて、事業者と連携してリサイクルを実施します。</p> <p><年度目標> 市立小・中学校の学校給食牛乳パックを全量リサイクルする。</p>	<p>牛乳パック処理量 34,626 kg</p>	<p>引き続き、市立小・中学校の学校給食牛乳パックを全量リサイクルする。</p>	<p>・民間業者と連携協定の締結 ・牛乳パック自動洗浄処理機購入 ・回収・処理体制の構築</p>
<p>(3) 多量排出事業者への減量指導</p> <p>「枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例」に基づく多量排出事業者に対して、一般廃棄物減量等計画書の提出や廃棄物管理責任者の選任を求めるとともに、研修会等の開催や立入指導を定期的実施します。</p>	<p>㉚ 多量排出事業者に対して、一般廃棄物管理責任者の選任及び事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を求め、減量等の取り組みの実施状況の確認や指導のために、立入調査を実施します。</p> <p><年度目標> 2.5トン/月以上一般廃棄物を排出する多量排出事業者への立入指導を25件行う。</p>	<p>・多量排出事業者74社に一般廃棄物管理責任者の選任及び事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を依頼。</p> <p>・多量排出事業者のごみの排出状況やリサイクルの取り組みを確認するために立入を実施。</p>	<p>引き続き、多量排出事業者の立入を実施する。</p>	<p>・多量排出事業者61社から、一般廃棄物管理責任者の選任及び事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を受けた。</p> <p>・多量排出事業者への立入し、ごみの分別・排出状況等の確認を実施した。 立入件数 6件</p>	

3. 基本方向3 安全で安定的なごみの収集・処理体制の構築

基本 施策	施策内容（基本計画抜粋）	令和5年度 of 取組内容・年度目標	令和5年度 of 取組実績(1月末)	今後の予定等	前年度取組み実績
安全で安定的なごみの収集・処理	<p>(1) ごみ処理の広域化の推進</p> <p>ペットボトル・プラスチック製容器包装については、北河内4市リサイクル施設組合で選別・圧縮梱包を引き続き行います。また、可燃ごみについては、令和7年度の稼働を目指し、京田辺市と可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。</p>	<p>⑳ 京田辺市及び枚方京田辺環境施設組合と連携し、可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。</p> <p><年度目標> 可燃ごみ広域処理施設の整備を推進する。</p>	<p>枚方京田辺環境施設組合により可燃ごみ広域処理施設の整備が進められた。</p> <p>4月～ 施設建設工事着手</p>	<p>・京田辺市及び枚方京田辺環境施設組合と連携し、可燃ごみ広域処理施設の整備を進める。</p>	<p>枚方京田辺環境施設組合により施設整備・運営事業者選定に係る入札手続きが進められた。</p> <p>4月 詳細設計着手 6月 建築確認申請、各種申請、届出等 3月 京田辺市による粗造成完了 整備・運営事業に係る工事説明会の開催</p>
	<p>(2) ごみ処理施設の安全で安定的な稼働</p> <p>穂谷川清掃工場第3プラントについて、令和7年度まで安定稼働ができるよう必要な補修工事を実施するとともに、東部清掃工場の長寿命化を図るため、「東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画」に基づく基幹改良工事などを計画的に実施します。</p>	<p>㉑ 令和5年度の「循環型社会形成推進交付金」の申請を行い、東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づく基幹的設備改良事業を第一期工事として計画的に実施します。</p> <p><年度目標> 東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づく基幹的設備改良事業の第一期工事が適切に行われるよう工事の工程管理を行う。</p>	<p>・東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づく基幹的設備改良事業の第一期工事を引き続き実施し、令和5年度予定の焼却灰の搬送設備及び一部電気設備等の更新工事を実施。</p> <p>・令和5年度の「循環型社会形成推進交付金」の申請を行った。</p>	<p>東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づく基幹的設備改良事業の第一期工事を引き続き実施し、令和6年度は、焼却炉内の耐火物や公害分析計等の更新工事を実施する。</p>	<p>・東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づく基幹的設備改良事業の第一期工事による灰溶融炉の停止（廃止）を実施。</p> <p>・令和4年度の「循環型社会形成推進交付金」の申請を行った。</p>
	<p>(5) 災害時等に対応できるごみ処理体制の構築</p> <p>災害廃棄物処理計画に基づき災害時に備えたごみ処理体制の検討を行います。また、緊急時も含めたごみ処理に係る周辺自治体との応援体制も引き続き整備します。</p>	<p>㉒ 災害廃棄物に関する国・大阪府のブロック会議への出席、及び研修・訓練等への参加を通じて災害時の連携・連絡体制の確認・情報収集を行う。また、策定した災害廃棄物処理計画に基づき、仮置場候補地の調査・整理を行うなど発災前の平時の対応に取り組みます。</p> <p><年度目標> 仮置場候補地リストを作成する。</p>	<p>仮置場候補地リストの作成に向けて、公園所管部署との協議を進めた。</p>	<p>仮置場候補地リストの作成に向けて、関係部局との調整を進める。</p>	<p>ブロック会議 8月 勉強会（トイレ・し尿対策） 11月 ワークショップ（片付けごみ1） 12月 情報伝達訓練 1月 ワークショップ（片付けごみ2） 2月 会議</p> <p>仮置場 仮置場の選定に向けて、公園部局と協議を実施した。</p>

4. 基本方向4 環境に配慮したまちづくり

基本 施策	施策内容（基本計画抜粋）	令和5年度の実組内容・年度目標	令和5年度の実組実績(1月末)	今後の予定等	前年度取り組み実績
環境 負 荷 の 低 減	<p>(1) 環境負荷の低減</p> <p>焼却余熱による発電や施設の省エネルギー化を進め、エネルギーの有効活用を行うとともに、灰溶融炉を停止することにより、エネルギー使用量の削減を図ります。</p> <p>また、温室効果ガスの発生抑制のため、地球温暖化につながるプラスチックごみの焼却量の削減を図るとともに、ごみの減量等によるごみ収集車の燃料使用量の抑制を図るとともに、低公害車等の導入により、環境負荷の低減に努めます。</p>	<p>③④ 清掃工場の焼却余熱による発電を行います。</p> <p><年度目標> 焼却余熱による発電や施設の省エネルギー化を進め、エネルギーの有効活用を行う。</p>	<p>【穂谷川清掃工場】 売電量 2,945,599 kWh 収入額 48,602,383 円</p> <p>【東部清掃工場】 売電量 12,649,968 kWh 収入額 224,617,027 円</p>	<p>【穂谷川清掃工場】 計画的な運転管理を継続し、安定的な電力供給に努める。 年間予定売電量 3,878,910 kWh</p> <p>【東部清掃工場】 引き続き余剰電力の売電を行う。 年間予定売電量 15,800,000 kWh</p>	<p>【穂谷川清掃工場】 売電量 3,523,068kWh 収入額 35,442,058 円</p> <p>【東部清掃工場】 売電量 14,528,902kWh 収入額 231,916,905 円</p>
	<p>また、温室効果ガスの発生抑制のため、地球温暖化につながるプラスチックごみの焼却量の削減を図るとともに、ごみの減量等によるごみ収集車の燃料使用量の抑制を図るとともに、低公害車等の導入により、環境負荷の低減に努めます。</p>	<p>③⑤ 省エネ効果の高い設備への随時更新を行います。また、灰溶融炉の停止に伴い、温室効果ガスの排出量及び、エネルギー使用量の削減を行います。</p> <p><年度目標> 設備の更新にあたっては、省エネ設備の導入を行う。</p>	<p>東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づく基幹的設備改良事業の第一期工事を引き続き実施し、令和5年度予定の焼却灰の搬送設備及び一部電気設備等の更新工事を実施した。</p>	<p>東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づく基幹的設備改良事業の第一期工事を引き続き実施する。</p>	<p>東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づく基幹的設備改良事業の第一期工事による灰溶融炉の停止（廃止）（令和4年度末）により、以降の二酸化炭素の環境負荷が2,100t/年（燃料換算）削減される予定。</p>
	<p>また、温室効果ガスの発生抑制のため、地球温暖化につながるプラスチックごみの焼却量の削減を図るとともに、ごみの減量等によるごみ収集車の燃料使用量の抑制を図るとともに、低公害車等の導入により、環境負荷の低減に努めます。</p>	<p>③⑥ ペットボトル・プラスチック製容器包装の分別排出の徹底を図り、プラスチックごみの焼却量を削減します。</p> <p><年度目標> ごみの適正な排出に向けた啓発活動を実施する。</p>	<p>・ペットボトル・プラスチック製容器包装の分別排出について、市ホームページ、ごみ分別アプリ、マニュアル等により市民に周知した。</p> <p>・ポスティングによる啓発を実施した。 容器包装プラ： 850 集積場所 27,738 世帯</p>	<p>・ペットボトル・プラスチック製容器包装の分別排出について、市ホームページ、ごみ分別アプリ、マニュアル等により市民に周知する。</p> <p>・ポスティングによる啓発を実施する。</p>	<p>ポスティングによる啓発を実施した。 382 集積場所 17,891 世帯</p>
まち 美 化 ・ 不 法 投 棄 対 策 の 推 進	<p>(1) まち美化の推進</p> <p>「枚方市ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置の防止に関する条例」などにに基づき、ポイ捨て防止キャンペーンや路上喫煙防止、アダプトプログラムなどの取り組みを推進します。</p>	<p>③⑦ 「ひらかたプラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言」に基づく取り組みとして、「ひらかたプラごみダイエット行動宣言」の参加者を募集し、ポイ捨て・置き去りごみゼロに向けた取り組みを進めます。</p> <p><年度目標> 参加者数：延べ10,000人</p>	<p>参加者数：延べ 10,104 人</p>	<p>各種イベント等において、「ひらかたプラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言」について、情報発信するとともに、プラスチックごみの削減、ポイ捨て・置き去りごみをゼロにする行動の啓発活動を行う。</p>	<p>参加者数：延べ7,600人</p>
	<p>また、温室効果ガスの発生抑制のため、地球温暖化につながるプラスチックごみの焼却量の削減を図るとともに、ごみの減量等によるごみ収集車の燃料使用量の抑制を図るとともに、低公害車等の導入により、環境負荷の低減に努めます。</p>	<p>③⑧ アダプト団体との連携や、クリーンリバーの実施・参加団体の拡大により、参加者をはじめ、広く市民に、ポイ捨て防止の啓発を行います。</p> <p><年度目標> アダプト団体への支援を行うとともに、3河川でのクリーンリバーを実施する。</p>	<p>・アダプト団体への清掃用具の提供及び排出されたごみの収集・処分等を実施。</p> <p>・10月9日に「クリーンリバー船橋川」が枚方企業団地主催で実施された。</p>	<p>秋頃に3河川のクリーンリバーを開催予定。</p>	<p>・アダプト団体への清掃用具の提供及びごみの収集・処分等の支援の実施。</p> <p>・10月1・2日に「クリーンリバー船橋川」が枚方企業団地主催で実施された。</p> <p>参加者 89名</p> <p>なお、感染拡大防止のため、天の川クリーン&ウォーク及びクリーンリバー穂谷川を開催中止とした。</p>